

## 連続講座「加納家と一宮」第3回

# 加納久宜と華族社会

2019年2月に没後100年を迎える元一宮町長・加納久宜。その節目の年に向けて、今年度は6回に亘って、加納家と一宮の歴史を学ぶ、連続講座「加納家と一宮」を開催します。

第3回目の今回の講座は、久宜の生家である三池立花家、本家の柳川立花家と久宜の関係を中心にお話をいただきます。

柳川古文書館（福岡県柳川市）に寄託されている「旧柳川藩主立花家文書」の中の加納久宜書翰<sup>しょかん</sup>から、今まであまり語られることのなかった久宜の一面を見ていきます。



▲「授子爵の一件」（「加納家史料」所収、一宮町教育委員会蔵）  
明治17年（1884）、久宜が「子爵」を授かった時のもの

- と き 平成31年1月26日（土）※天候不良などにより中止になる場合があります。  
午後1時30分～（午後1時受付開始、3時過ぎ終了予定）
- ところ 一宮町中央公民館・大会議室
- 講 師 <sup>うちやまかずゆき</sup>内山一幸氏（大阪経済大学経済学部講師）  
著書：『明治期の旧藩主家と社会』（吉川弘文館、2015年）
- 問合せ 一宮町教育委員会 42-1416
- ※参加無料、定員はありませんので、どなたでもご参加できます。